

研修名 保健看護研修 2

平成28年12月16日(金) 13:30~16:00

講演 「食物アレルギーの基礎と緊急時対応」

講師 大阪府済生会 中津病院 末廣 豊 氏



## 1 講演要旨

- ・生活様式の変化、疾病構造の変化で炎症性疾患が増加している。国民の4割が花粉症。
- ・アレルギー疾患の増加でDNAクラスで細胞が傷つけられている。
- ・離乳食を遅らせることは、あまり意味がない。早期からアレルギー食をトライさせる。
- ・元気な人の便を移植して腸内環境を変えて治療する。
- ・アトピー性皮膚炎、アレルギー性湿疹などプロアクティブに軟膏を塗ると治癒する可能性がある。舌下錠で治療。
- ・食物アレルギーとは、食物によって引き起こされる抗原特異的な免疫学的機序を介して生体にとって不利益な症状が褒起される現象。
- ・食物アレルギーの特徴：増えてきている 皮膚から感作が起こる なおせる 全身の症状がでることがある。症状：皮膚症状、呼吸症状、粘膜症状、消化器症状、ショック症状。即時型反応と遅発型反応。全年齢における原因食品：卵、牛乳、小麦の順に多い。
- ・アレルギー反応：マスト細胞、IgE抗体、アレルゲンの3つがそろると食物アレルギーと診断される。反対にそろわないとそのアレルギーを治すことができる。
- ・エピペンの実習

## 2 感想

この10月から保育所の病児保育（体調不良児型）で勤務することになりました。私の勤務する保育所でも食物アレルギーの子どもがいます。実際にアレルギー症状を起こした子どもに接したことがありません。これまでも看護師を続けるなかで食物アレルギーについてやショック時などの対応について学ぶ機会がありませんでした。今回、末廣先生の講演に参加させてもらい楽しく学ぶことができました。

綺麗で便利で生活しやすい環境ですが、国民の4割が花粉症で驚きました。私自身も花粉症です。昔に比べて生活様式の変化が大きく影響していることを学びました。講演では、緊急時対応に備えエピペンの実習もできとても良い経験となりました。その反面、ショックで苦しむ子どもがいてエピペンを使用しなければいけない状況があるとおもうと身の引き締まる思いでした。今回の講演では、食物アレルギーについて興味がわき更に知識を増やしていけたらいいなと思いました。今後の保育所での経験に活かしていきたいです。

( 記録 宇治田原町立保育所 久保田 かおり )

